



(題字 瀧澤 弘 学長)

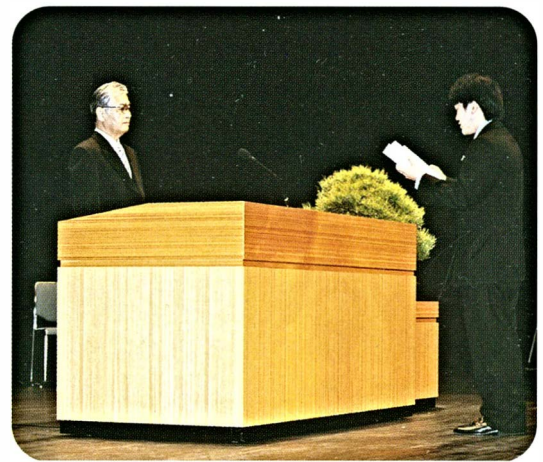
第448号
(平成14年4月号)

4月のトピックス

◇ 8日 平成14年度富山大学入学式を盛大に挙



△入学式会場前で記念撮影をする入学生



△入学生代表宣誓をする経済学部の大島利基さん

◇ 22日 新大学構想協議会が発足



目 次

学 長 告 辞

- ◆ 平成13年度富山大学入学式を盛大に挙行 3

関 係 法 令 5

学 内 規 則

- ◆ 富山大学21世紀COE対応委員会要項の制定 6
- ◆ 富山大学学長選考規則の一部を改正する規則の制定 7
- ◆ 富山大学学長選考実施細則の一部を改正する細則の制定 8
- ◆ 富山大学における教員の教育業績評価指針の制定 11

諸 会 議 12

学 事

- ◆ 新大学構想協議会が発足 13
- ◆ 新大学構想協議会の下に「構想策定委員会」を設置することを決定 14
- ◆ 再編・統合⑦ 14
- ◆ 平成14年度前期公開講座の実施計画を決定 15

人 事 異 動 17

学 内 諸 報

- ◆ 教育学部附属学校（園）長の改選 23
- ◆ 中国山東大学と大学間学術交流協定を締結 25
- ◆ 地域共同研究センターがサテライト技術相談オフィスを開設 25
- ◆ 第38回機械工業見本市（ME X金沢2002）に本学が出展 26
- ◆ 訃 報 26
- ◆ 海外渡航者 27

主 要 行 事 28

お 知 ら せ

- ◆ 子の看護のための休暇制度について 31
- ◆ 酒のイッキ飲みの防止について 31

学 長 告 辞

平成14年度富山大学入学式を盛大に挙行

—学部学生1,595人、大学院生316人、計1,911人の入学を許可—

平成14年度富山大学入学式が、4月8日（月）午前10時30分から富山市芸術文化ホールにおいて挙行されました。

式に先立ち、富山大学合唱団による「富山大学歌」（森川勝彦作曲）及び「I will praise thee, o lord」（KNUT NYSTEDT作曲）の合唱があり、会場は和やかな雰囲気になりました。

式では、関係部局長が列席する中、最初に瀧澤学長が、学部学生1,516人、3年次編入学生79人及び大学院生316人計1,911人に入学許可を宣言し、「富山大学は富山医科薬科大学及び高岡短期大学と再編・統合の協議を始めることになり、業績と伝統を発展させた新大学に生まれ変わる日も遠くない。また、自由と自己責任の世界に入ったことを自覚し、悔いのない青春を送ってほしい。」旨告辞されました。

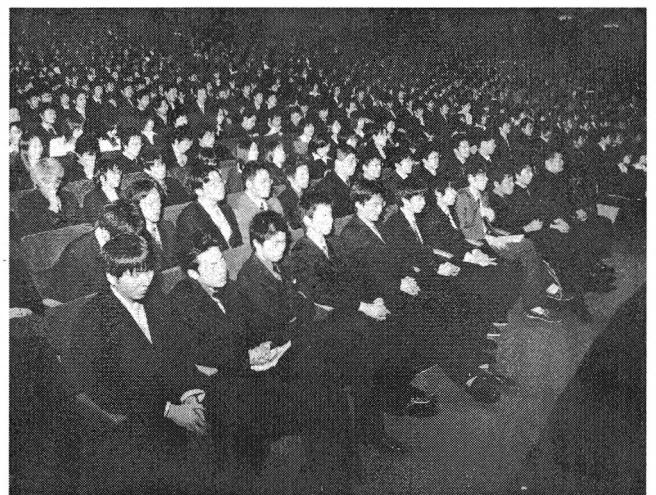
これに対し、経済学部経営学科大島利基さんが新入生を代表して「入学生一同は、在学中、学則を守り、自己の研鑽に努め、更なる未来への展望を広げるとともに、より一層の学識を深めるよう努力します。」と宣誓し、無事に式を終了しました。

また、式終了後、富山大学ギターマンドリンクラブが「菊次郎の夏」（久石 譲作曲）及び「ルンバ」（Dieter Kriedler作曲）の2曲を合唱し、続いて富山大学フィルハーモニー管弦楽団が「ラデツキィー行進曲」（ヨハン・

シュトラウス作曲）及び「威風堂々」（エルガー作曲）の2曲を演奏し、入学生を楽しませました。

その後、学部入学生に対しては、学生部のオリエンテーションが行われました。

なお、工学部では、保護者を対象とした施設見学と懇談会が初めて実施されました。



入学式における学長告辞

富山大学のそれぞれの学部へ入学の皆さん、大学院研究科へ進学なさった皆さん、おめでとうございます。

現在の日本では、同年代のほぼ半数が高等教育を受ける時代になったと言われてはいますが、やはりかなりの厳しい入学試験に合格しなければならず、皆さんは今、受験勉強から解放されて新しい大学生生活への期待でいっぱいのことと思います。

さて、新聞等の報道で国立大学の行方に不安を持っておられる方もいるでしょう。確かに今、全国の国立大学

では、独立行政法人化や再編統合問題で揺れております。法人化によって大学の運営が国の行政から独立して行われることとなりますが、国の予算で運営される国立大学であることに変わりはありません。また、大学として学問研究の自由と共に、社会的責任が今以上に大きくなることも事実ですが、しかし大学としての本来の姿を失わないように、国立大学協会でも様々な検討が行われています。

また、再編統合については、富山大学も先般、県内の富山医科薬科大学・高岡短期大学との統合に向けて協議を始めることになりました。しかし、3大学の統合と言っても3つの大学がただ一つにまとまるのではなく、3大

学が統合することによって、より研究体制を強め、学生の教育を充実させ、多くの社会的貢献が出来る大学になることを目指しております。

3大学の中では、私たちの富山大学は最も長い歴史を持ち、多くの研究業績を挙げ、数多くの有能な人材を育ててきましたが、やがて、富山大学の業績と伝統を継承発展させた新しい大学に生まれ変わる日も遠くはないと期待していただきます。

富山大学は50年を超える歴史の中で多くの学者研究者を育てて来ました。その数はこの規模の地方大学としては全国に誇り得るものです。もちろん大学は研究者を育てることだけを目的としてはいません。しかし、多くの研究者を育て得る実力を持った大学であることを理解して、どうか富山大学で学ぶことを誇りに思って勉学に励んで下さい。

ここで皆さんが富山大学の学生として、是非心にとめておいてほしいことについて、少し述べましょう。

まず、大学での勉学や研究は、高等学校までの勉学と根本的に異なっています。皆さんは小学校から高校まで、国が認めた教員免許状を持った先生方に、それも文部科学省が検定した教科書を使って、文部科学省が定めた学習指導要領に従って教育を受けてきたわけです。いわば、定められたコースを受け身で勉強してきたわけです。

しかし、大学での勉学は違います。大学では教授・助教授・講師・助手といった先生方が講義や演習・実験指導などを担当していますが、大学の先生には免許状というものはありません。また、大学には学習指導要領も文部科学省が定めた教科書もありません。大学の教員の資格はそれぞれの学問の分野で研究者として業績を挙げたことで決まり、今も研究者であることが教員の資格です。どんな基礎的な分野の授業を担当している教員も学会で研究者として認められており、その知識と経験に基づき、責任を持って講義を担当し、教科内容に相応しい教科書を選んで授業を行っております。つまり大学の教育は教員の自由と責任において行われているのです。

さて学生の立場も、今までの生徒の立場と全く異なっています。生徒の場合は、勉強や生活態度をはじめ進路指導に至るまで、一人一人の生徒についてきめ細かな指導が行われています。しかし大学の学生となると、学ぶも遊ぶも全て自己責任の世界です。授業をサポートしても誰も注意してくれません。

また大学では、教員は修学上の問題で相談に来る学生には幾らでも対応しますが、極端に言えば、自ら求めない学生には何も与えてくれません。大学の附属図書館に

は、百万冊近い蔵書があり、雑誌も海外の学術雑誌を含めて、約16,000種類のものがあります。これらを利用するもしないも自由です。

自由と責任、それは大人の世界です。私たち教員は皆さんを大人として、紳士淑女として迎えます。皆さんは自由と自己責任の世界に入ったことをまず自覚してください。

もう一つ重要なことは、皆さんは学部での専門分野の勉学のほかに、人文・社会、自然系の教養科目や、外国語・保健体育・情報処理・言語表現、また総合科目といった科目の勉学が必要です。富山大学では、学生のそれぞれの個性を伸ばし、将来、社会で指導的立場に立つ有為な人材を育てることを目的としていますが、その根底には、将来に向けて変わることのない価値観としての、高度な倫理観に基づく豊かな人間性を培うという理念があります。

専門教育による高い専門知識を持っていても、広い視野と豊かな人間性を持っていない限り 社会の変動に的確な対応が出来ません。このような能力の養成は専門教育のみでは困難で、全学の教員がそれぞれの専門分野を生かして担当する教養教育を重視することによって、実現し得るものです。富山大学が専門教育と共に教養教育を重視している理由を、今一度かみしめて理解していただきたいと思います。

終わりにもう一つ、学生達の中には、大学の授業が面白くないと言う学生がいます。

しかし、大学の講義は落語や漫才ではありません。勉学は本来、始めから楽しいものではないのです。勉学というものは始めは苦しいものです。苦しい勉学を通して初めて勉学の楽しみがわかって来ます。

少し厳しいことを言い過ぎました。大学院に進学した皆さんには、言わずもがなのことだったかも知れません。

本日、富山大学の学生となった皆さんは、どうか勉学に、またサークル活動に、悔いのない青春を送ってください。

最後に、本日の入学を心からお祝いして私の告辞いたします。

平成14年4月8日

富山大学長 瀧澤 弘

関 係 法 令

(法 律)

- 国立学校設置法の一部を改正する法律(23)(平成14.4.10官報第3338号)

(政 令)

- 国立学校設置法施行令の一部を改正する政令(130)(平成14.4.1官報号外第65号)
- 盲学校、聾学校及び養護学校への就学奨励に関する法律施行令の一部を改正する政令(139)(同)
- 学校教育法施行令の一部を改正する政令(163)(平成14.4.24官報第3348号)

(省 令)

- 文部科学省組織規則の一部を改正する省令(文部科学22)(平成14.4.1官報号外第65号)
- 文部科学省定員規則の一部を改正する省令(同23)(同)
- 教育公務員特例法施行令第1条の規定に基づき大学院に置かれる研究科の長を定める省令の一部を改正する省令(同26)(同)
- 国立学校における授業料その他の費用に関する省令の一部を改正する省令(同27)(平成14.4.1官報号外第66号)
- 国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令(同28)(平成14.4.8官報第3336号)

(規 則)

- 人事院規則1-5(特別職)の一部を改正する人事院規則(人事院1-5-12)(平成14.4.1官報号外第65号)
- 任用等に関する人事院承認等の廃止・合理化のための関係人事院規則の整備に関する人事院規則(同1-35)(同)
- 人事院規則9-2(俸給の適用範囲)の一部を改正する人事院規則(同9-2-41)(同)

- 人事院規則9-6(俸給の調整額)の一部を改正する人事院規則(同9-6-45)(同)
- 人事院規則9-8(初任給,昇格,昇給等の基準)の一部を改正する人事院規則(同9-8-46)(同)
- 人事院規則9-17(俸給の特別調整額)の一部を改正する人事院規則(同9-7-87)(同)
- 人事院規則9-30(特殊勤務手当)の一部を改正する人事院規則(同9-30-45)(同)
- 人事院規則9-68(義務教育等教員特別手当)の一部を改正する人事院規則(同9-68-7)(同)
- 人事院規則11-8(職員の定年)の一部を改正する人事院規則(同11-8-15)(同)
- 人事院規則16-0(職員の災害補償)の一部を改正する人事院規則(同16-0-32)(同)
- 人事院規則16-3(災害を受けた職員の福祉事業)の一部を改正する人事院規則(同16-3-31)(同)
- 人事院規則16-4(補償及び福祉事業の実施)の一部を改正する人事院規則(同16-4-22)(同)

(告 示)

- あん摩マッサージ指圧師,はり師,きゅう師等に関する法律に規定する学校として認定した件の一部を改正した件(文部科学62)(平成14.4.1官報号外第66号)
- 大学の設置等の認可申請書その他の書類の様式及び提出部数の一部を改正する件(同74)(同)
- 放射線監視等交付金交付規則の一部を改正する規則を定める件(同76)(平成14.4.10官報第3338号)
- 短期大学の廃止を認可した件(同79)(平成14.4.17官報第3343号)
- 短期大学,短期大学の学科の廃止を認可した件(同80)(同)
- 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件の一部を改正する件(同82)(平成14.4.30官報第3351号)

学 内 規 則

富山大学21世紀COE対応委員会要項の制定

富山大学21世紀COE対応委員会要項の制定理由

富山大学の教育研究の水準向上及び競争的環境の活性化を図るため、富山大学21世紀COE対応委員会を設置することに伴い、所要事項を定める。

富山大学21世紀COE対応委員会要項を次のとおり制定する。

平成14年 4月26日

富山大学長 瀧澤 弘

富山大学21世紀COE対応委員会要項

(設 置)

第1条 富山大学に世界的教育研究拠点形成のための重点的支援に対応するため、富山大学21世紀COE対応委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(任 務)

第2条 委員会は、世界的教育研究拠点形成のための重点的支援に対応するため、富山大学大学院博士後期課程の単独又は複数の専攻及び学内共同教育研究施設若しくは富山大学大学院修士課程の単独又は複数の専攻のうちから、文部科学省に申請する分野（細分野）及び専攻等を決定するものとする。

(組 織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 副学長
- (3) 研究科長
- (4) 副研究科長
- (5) 専攻長
- (6) 事務局長

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、学長をもって充てる。
2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。ただし、委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

(議 事)

第5条 委員会は、委員の過半数が出席しなければ開会

できない。

2 議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取)

第6条 委員会が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(専門部会)

第7条 委員会に、21世紀COEの申請に際し、将来構想及びその実現のための計画の策定並びに資料収集等をするため、自然系部会及び人文・社会系部会を置く。

2 自然系部会は、次の者をもって構成する。

- (1) 理工学研究科長
- (2) 理工学研究科副研究科長
- (3) 委員会において申請対象に決定された理工学研究科博士後期課程の専攻長及び当該専攻から選出された教授2人

3 自然系部会に座長を置き、理工学研究科長をもって充てる。

4 人文・社会系部会は、次の者をもって構成する。

- (1) 人文科学研究科長
- (2) 教育学研究科長
- (3) 経済学研究科長

(4) 前3号の研究科のうち、委員会において申請対象に決定された研究科の専攻から選出された教授2人

5 人文・社会系部会に座長を置き、前項第1号から第3号に掲げる者の互選による。

6 専門部会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、座長の決するところによる。

- (庶務)
第8条 委員会の庶務は、総務部研究協力課において処理する。
(雑則)
第9条 この要項に定めるもののほか、委員会の運営に

関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この要項は、平成14年4月26日から実施する。

富山大学学長選考規則の一部を改正する規則の制定

富山大学学長選考規則の改正理由

- 1 推薦資格者及び選挙資格者の見直しに伴い、所要事項を改める。
- 2 学長選挙候補者が、3人又は2人の場合の取扱いを明確にするため、所要事項を改める。
- 3 不在者投票の取扱いの見直しに伴い、所要事項を改める。
- 4 予備選挙の実効性が無いことから、予備選挙を廃止することに伴い、所要事項を改める。
- 5 字句を整備する。

富山大学学長選考規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する

平成14年4月26日

富山大学長 瀧澤 弘

富山大学学長選考規則の一部を改正する規則

富山大学学長選考規則（昭和62年6月26日制定）の一部を次のように改正する。

第3条第2項中「1カ月」を「1か月」に改める。

第5条中第2項を削り、第3項を第2項とする。

第6条第1項中「専任教官」を「専任教員」に改め、「海外渡航中の者及び」を削り、同条第2項中「専任教官」を「専任教員」に改め、「海外渡航から帰国した者」を削り、同条第3項中「専任教官」を「専任教員」に改め、「海外渡航中の者」を削る。

第7条第2項中「専任教官」を「専任教員」に改め、同条第5項中「予備選挙候補者」を「学長選挙候補者」に改め、同条第7項中「第19条」を「第18条」に改める。

第10条第3項及び第4項中「予備選挙候補者」を「学長選挙候補者」に改める。

第11条の見出し中「予備選挙候補者」を「学長選挙候補者」に改め、同条中「予備選挙候補者」を「学長選挙候補者」に、「予備選挙候補者名簿」を「学長選挙候補者名簿」に改める。

第12条を次のように改める。

(学長選挙候補者の経歴書等)

第12条 管理委員会は、学長選挙候補者から提出された経歴書等を選挙資格者に配布する。

第13条を削る。

第14条の見出しを「(選挙)」に改め、同条第1項中「本選挙は、本選挙候補者について」を「選挙は、学長選挙候補者について」に改め、同条第2項中「前項の投票において」を「学長選挙候補者が4人以上の場合で、前項の投票において」に改め、同条第3項中「前項の投票において」を「学長選挙候補者が3人の場合(前項による得票上位の3人の選挙の場合を含む。)」に改め、ただし書きを削り、同条に次の1項を加え、同条を第13条とする。

4 学長選挙候補者が2人の場合(前項による得票上位の2人の選挙の場合を含む。)で、得票が同数であるときは、評議会が学長候補当選者を決定する。

第15条の見出し中「本選挙実施」を「選挙実施」に改め、同条第1項中「本選挙候補者」を「学長選挙候補者」に改め、同条を第14条とする。

第16条第1項中「予備選挙及び本選挙」を「選挙」に改め、「公務上やむを得ない事由により」を削り、同条を第15条とする。

第17条を第16条とする。

第18条中「予備選挙及び本選挙」を「選挙」に改め、

ただし書きを削り、同条を第17条とする。

第19条を第18条とし、第20条から第22条までを1条ずつ繰り上げる。

附 則

この規則は、平成14年4月26日から施行する。

富山大学学長選考実施細則の一部を改正する細則の制定

富山大学学長選考実施細則の改正理由

- 1 予備選挙が廃止されたことに伴い、所要事項を改める。
- 2 富山大学学長選考規則において、選挙資格者に配布する学長選挙候補者の経歴書等が改正されたことに伴い、所要事項を改める。
- 3 富山大学学長選考規則において、不在者投票の取扱いが改正されたことに伴い、所要事項を改める。

富山大学学長選考実施細則の一部を改正する細則を次のとおり制定する。

平成14年 4月26日

富山大学長 瀧 澤 弘

富山大学学長選考実施細則の一部を改正する細則

- (3) 大学の教育・研究に関する見解 (2,000字以内)
- (4) その他管理委員会が必要と認めた事項

富山大学学長選考実施細則 (昭和62年6月26日制定) の一部を次のように改正する。

- 2 学長選挙候補者は、前項に規定する書類を学長選挙候補者の公示後7日以内に、管理委員会に提出するものとする。

第1条中「第22条」を「第21条」に改める。

第7条中「予備選挙及び本選挙」を「選挙」に改める。

第2条第1項第3号中「予備選挙及び本選挙」を「選挙」に改める。

第8条中「予備選挙及び本選挙」を「選挙」に改め、「それぞれ」を削る。

第5条 (見出しを含む。) 中「予備選挙候補者名簿」を「学長選挙候補者名簿」に改める。

第10条を削り、第11条を第10条とし、第12条を第11条とし、第13条を第12条とする。

第6条を次のように改める。

様式第3中「予備選挙候補者名簿」を「学長選挙候補者名簿」に改める。

(学長選挙候補者の経歴書等)

様式第4及び様式第5を次のように改める。

第6条 規則第12条の規定による学長選挙候補者から提出された経歴書等とは、次の各号に掲げる書類とし、五十音順に作成する。

附 則

この細則は、平成14年4月26日から施行する。

(1) 経歴書 (様式第4)

(2) 大学の管理運営に関する見解 (2,000字以内)

様式第4

学長選挙候補者の経歴書（(元号) 年 月 日現在）

富山大学

ふりがな 氏 名	現 職	
	本籍(都道府県のみ)	
	現 住 所	
	生 年 月 日	年 月 日 (満 才)
最 終 学 歴		
(元号) 年 月		
.		
職 歴		
(元号) 年 月		
.		
.		
.		
.		
.		
学 位 ・ 称 号		
(元号) 年 月		
.		
.		
専 門 分 野		
賞 罰		
(元号) 年 月		
.		
.		
学 会 ・ 社 会 に お け る 活 動		
(元号) 年 月		
.		

※用紙はA4判とする。

様式第 5

学 長 候 補 者 選 挙 投 票 用 紙

表 面

裏 面

9 cm

14 cm

富山大学学長候補者
選挙投票用紙
富山大学学長候補者選挙管理委員会
印

裏 面

候補者氏名

信 任 投 票 用 紙

表 面

裏 面

9 cm

14 cm

富山大学学長選挙候補者
信任投票用紙
富山大学学長候補者選挙管理委員会
印

候補者氏名
(例)
富 山 太 郎

記 入 欄

富山大学における教員の教育業績評価指針の制定

富山大学における教員の教育業績評価指針の制定理由

本学が教員の教育活動状況について定期的な点検・評価（教員の教育業績評価）を実施するに当たり、教員の教育業績評価に係る基本方針を定めるため、指針を制定する。

富山大学における教員の教育業績評価指針を次のとおり制定する。

平成14年 4月26日

富山大学長 瀧澤 弘

富山大学における教員の教育業績評価指針

（目 的）

第1 この指針は、富山大学（以下「本学」という。）の教員個人の教育活動状況について、自律的かつ定期的な点検・評価（以下「教育業績評価」という。）を実施することにより、本学の教員人事の活性化を推進するとともに、教育活動の一層の改善、充実に図り、もって本学の理念の実現に寄与することを目的とする。

（評価の対象）

第2 教育業績評価の対象とする教員（被評価者）は、本学の教授、助教授、専任の講師及び助手とする。

（評価に係る組織）

第3 教育業績評価に係る組織は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 学長
- (2) 大学教育業績評価委員会
- (3) 学部長等（第4号の学部等の長をいう。以下同じ。）
- (4) 学部等（各学部、地域共同研究センター、生涯学習教育研究センター、総合情報処理センター、留学生センター、水素同位体科学研究センター、機器分析センター、極東地域研究センター及び保健管理センターをいう。以下同じ。）に設置する学部等教育業績評価委員会
- (5) 教員（被評価者）

2 大学教育業績評価委員会及び学部等教育業績評価委員会に関する規則は、別に定める。

3 必要に応じて、大学教育業績評価委員会には学外者を、学部等教育業績評価委員会には当該学部等以外の者を、外部委員として加えることができる。

（評価の領域）

第4 教育業績評価は、教員の教育活動全般について幅

広く行う。

（評価の方法）

第5 教育業績評価は、原則として、評価される教員が自ら作成した資料及び学生による授業評価等の結果に基づき行う。

2 教員の教育業績評価は、大学教育業績評価委員会が行う第一次評価及び学部等教育業績評価委員会が行う第二次評価とする。

（評価項目及び評価基準）

第6 教育業績評価の評価項目及び評価基準は、大学教育業績評価委員会が定める。

ただし、学部等教育業績評価委員会が行う第二次評価の学部等の共通の評価基準は、実施細目に定めるものとする。

2 学部等教育業績評価委員会は、学部等の特殊性や教員の専門性を考慮し、大学教育業績評価委員会が定めた評価項目及び評価基準を尊重して、独自の基準を設定することができる。

3 大学教育業績評価委員会は、全学的視野に立って、学部等で定めた教員個人の評価項目、評価基準等の妥当性を検討し、必要に応じて学部等による不均衡を調整する。

（教員の教育業績等）

第7 本学のすべての教員は、毎年4月から翌年の3月までの教育活動の年間業績を所定の様式に従ってまとめ、所定の期日までに大学教育業績評価委員会に提出するものとする。

（評価の実施）

第8 大学教育業績評価委員会及び学部等教育業績評価委員会は、教員の教育業績を毎年評価し、その結果を年度内に各教員に通知する。

（異議の申立て）

第9 教員は、評価結果に対して、異議を申し立てることができる。

(意見の聴取)

第10 学部長等は、教員から異議申立てがあったときには、教員の意見を聴取し、再評価しなければならない。

(評価結果の利用)

第11 学長及び学部長等は、評価の結果を教員の人事の活性化を促すために利用する。

2 学長及び学部長等は、評価の結果を教員の教育活動の改善、充実を促すために利用することもできる。

3 学長及び学部長等は、特に高い評価を受けた教員に対し、その活動の一層の向上を促すため、適切な措置をとることができる。

4 学長及び学部長等は、その活動が十分でないと評価された教員に対して、その理由を調査し、教育活動

状況の改善について、適切な助言及び指導を行うものとする。

5 学長及び学部長等は、教育業績評価の結果を集計し、総合的に分析し、本学又は学部等の教育活動の現状を把握し、本学の理念の実現のために積極的に利用するものとする。

(評価結果の公表)

第12 教員個人の教育業績評価結果については、当分の間公表しないこととし、公表の時期については、実施状況の推移をみながら検討する。

2 学長及び学部長等は、第11第5項による集計及び分析の結果を公表するものとする。

附 則

この指針は、平成14年4月26日から施行する。



再編・統合検討委員会（4月5日）

(審議事項)

- (1) 文部科学省との打ち合わせについて
- (2) 3機関による協議組織について

水質保全センター運営委員会（4月8日）

(審議事項)

- (1) 水質保全センターの名称変更について

年史編纂委員会（4月9日）

(審議事項)

- (1) 富山大学50年史の発行スケジュールについて

自己点検評価委員会（4月9日）

(審議事項)

- (1) 自己点検評価委員会専門委員会の委員構成について
- (2) 「富山大学の現状と課題2002」について
- (3) 平成13年度着手の大学評価「研究活動面における社会との連携及び協力」に係る事前調査回答(案)について

再編・統合検討委員会（4月12日）

(審議事項)

(1) 国立大学の再編・統合に係る懇談会の報告について

富山大学の教育業績評価の確立に関する検討委員会（4月15日）

(審議事項)

- (1) 富山大学の教育業績評価の確立について

再編・統合検討委員会（4月18日）

(審議事項)

- (1) 新大学の間構想(案)について

組織運営体制の整備に関する検討委員会（4月23日）

(審議事項)

- (1) 組織運営体制の整備について

広報委員会（4月25日）

(審議事項)

- (1) 専門委員会及び広報誌編集委員会の任務分担について

学生生活委員会（4月25日）

(審議事項)

- (1) 第47回(平成14年度)大学祭について

- (2) 学寮の在り方検討部会委員の選出について
 (3) Campus News編集委員の選出について

施設整備委員会（4月26日）

（審議事項）

- (1) 平成15年度施設整備概算要求に係る学内取りまとめ状況について
 (2) 富山大学施設利用細則について

部局長会議（4月26日）

（審議事項）

- (1) 学生の除籍について
 (2) 平成14年度大学祭に伴う休業日について

評議会（4月26日）

（審議事項）

- (1) 富山大学名誉教授称号授与について
 (2) 平成13年度着手の全学テーマ別評価「研究活動面における社会との連携及び協力」事前調査回答について
 (3) 富山大学21世紀COE対応委員会要項の制定について
 (4) 富山大学学長選考規則及び富山大学学長選考実施細則の一部改正について
 (5) 富山大学における教員の教育業績評価指針の制定について

学

事

新大学構想協議会が発足

3月26日（火）に富山大学、富山医科薬科大学及び高岡短期大学の3大学学長による富山県内国立大学の再編・統合に向けた協議開始の合意書の調印が行われたことを受けて、4月22日（月）に高岡短期大学において、3大学の各学長、副学長及び学部長等20人が出席して第1回新大学構想協議会が開催され、平成15年度の再編・統合に向けた協議を開始しました。

会議では各大学から下表のとおり新大学に向けた構想案の説明があり、主として、高岡短期大学から提案があった準学士制度の導入等について意見交換が行われました。

	学 部	大学院	その他
富山医科薬科大学	東西医学薬学、自然科学、人文社会文化学、保健福祉医療学の4つの学部群のもとに8～9学部と附属病院。	医薬中心で一部理工が加わった医学薬学総合科学研究科を新設。医学系研究科に医科学専攻を新設。	附属病院の分院を富山市五福地区に新設。脳と心の発達・加齢センターを新設。
高岡短期大学	地域政策、地域文化、国際交流など8～9学部。学部、大学院などをまとめる組織として学群を設置。	人文科学、理工学など既存の研究科と新設研究科。	文化系の学部準学士制度を導入。
富山大学	人文科学系、経済・経営・法律学系及び教員養成機能を有する学部など8学部。	医薬系と理工系で生命科学系の独立研究科を新設。既存の理工学研究科にも新しい独立専攻を設置。	

新大学構想協議会の下に「新大学構想策定委員会」を設置することを決定

4月30日（火）に第2回新大学構想協議会が開催され、学部編成（特に、教員養成機能を有する学部）や大学院、教養教育及び準学士制度等について意見交換が行われました。また、協議会の下に3大学の学長、副学長1名、学長が指名する教官1名及び事務局長計12名で構成する「新大学構想策定委員会」を設置することになりました。

再 編・統 合⑦

本学学内広報紙「富大速報」第9号に標記の記事が次のとおり掲載されました。

○富大速報第9号 『再編・統合⑦』

国立大学再編・統合検討委員会報告

○平成14年4月18日（木）に第13回国立大学再編・統合検討委員会が開催されました。

この日の委員会は、4月22日（月）に高岡短期大学において開催される新大学構想協議会（仮称）に提案するよう各大学に課された新大学の青写真（本学の提出資料）に関して協議されました。

以下に、資料の総論部分について掲載します。なお、この他に、これまで各部会において報告された中間報告を要約した資料も併せて同協議会（仮称）に提出されます。

期待される新大学像

科学技術の著しい発展と情報化の進展は、人類に多大な恩恵をもたらしたが、その反面、価値観の多様化や地球規模での環境問題、生命倫理に関わる問題など新たな問題を引き起こしている。このように、社会が複雑かつ急激な変化を遂げるに伴い、大学に対し従来以上に「知の創造と社会への貢献」が強く求められている。他方、富山県内国立3大学は、再編・統合に向けての協議開始の基本的確認事項として、新しい大学の基本理念を「地域と世界に向かって開かれた大学として、生命科学、自然科学と人文社会科学を総合した特色ある国際水準の教育及び研究を行い、高い使命感と創造力のある人材を育成し、地域と国際社会に貢献するとともに、科学、芸術文化と人間社会の調和的発展に寄与する。」とすることで合意した。これが新大学の青写真と考えられなくもないが、もう少し具体的に述べれば、新大学として以下のような要件を満たしていることを期待したい。

- (1) 環日本海地域の知的拠点として、先端的研究と国際水準の教育を行い、教職員、学生が誇りを 持てるような大学とする。
- (2) 新大学の中に、教員養成機能を持った学部を設置する。
- (3) 現高岡短期大学のキャンパスを有効活用した学部を設置する。
- (4) 教育
 - i) 学部教育は、質の高い教養教育と専門的な基礎教育を基本とし、幅広い視野と的確な判断力に加えて激動する現代社会を生きぬく能力を有する人材の育成を目指す。
 - ii) また、科学技術の高度化に伴い、高度の専門性を有する人材育成は我が国の重要な課題となっており、大学院教育の格段の充実を実現する。
- (5) 研究

- i) 学問・研究の自由を尊重する。
- ii) 教員が本務である教育・研究に専念できるような環境を整備する。
- iii) 医薬系と理工系で生命科学系の独立研究科を新設するとともに、理工学研究科に独立専攻（博士課程）を設置する。
- (6) 管理運営
- i) 教育・研究を十分遂行できる時間を確保するために、大学運営の思い切った効率化を図る。
また、学長を補佐する副学長を必要に応じて十分に配置し、大学の意思が遅滞なく決定できるような管理・運営体制を確立する。
- ii) 新大学の事務局は、学生定員数や教養教育実施上の都合を考慮して五福キャンパスに置く。
- (7) 地域貢献
- 大学の使命である教育と研究そのものが社会的貢献ではあるが、新大学においては地域に根差した総合大学として地域重視の姿勢を鮮明にし地元産業との共同研究や地域社会への知的サービスの提供を積極的に行う。
- (8) その他
- 準学士については、制度化された段階で、4年一貫教育との整合性を保てる形ならば文系の学部を導入する余地を残す。ただし、入学試験は別立てとしない。

以 上

平成14年度前期公開講座の実施計画を決定

平成14年度前期の富山大学公開講座を次のとおり実施することになりました。

	講座名	開設期間	定員	受講料	講師氏名(所属・職名)
〔 教 養 講 座 〕	近代フランス音楽におけるピアノ作品	14年5月10日(金)～ 14年6月28日(金)(毎週金曜日) 15時00分～16時30分 (計8日間12時間)	20名	6,800円	石井 哲夫(教育学部 助教授)
	自然の中で学ぼう ～野外教育施設活用講座～	14年5月11日(土)～14年5月12日(日) 5月11日(土):15時00分～16時30分 5月12日(日):9時00分～16時00分 (計2日間15時間)	25名	6,800円	黒田 卓(教育学部 助教授) 竹井 史(教育学部 助教授) 澤井 達司(富山市立神明小学校 教頭) 竹川 雅彦(国立乗鞍青年の家 主任専門職員)
	陶芸(オブジェ制作)	14年5月11日(土)～ 14年6月15日(土)(毎週土曜日) 15時00分～17時00分 (計6日間12時間)	20名	6,800円	後藤 敏伸(教育学部 助教授)
	フランス語初級I	14年5月11日(土)～ 14年7月13日(土)(毎週土曜日) 10時00分～12時00分 (計10日間20時間)	20名	7,800円	中島 淑恵(人文学部 助教授)
	入門中国語	14年5月11日(土)～ 14年7月6日(土)(毎週土曜日) 13時30分～15時00分 (計8日間12時間)	20名	6,800円	中村 雅之(人文学部 助教授)
	遊べ遊べ先生たち	14年5月12日(日)～ 14年7月7日(日) 14時00分～16時00分 (計5日間10時間)	45名	5,800円	早川 隆志(教育学部附属養護学校 教諭) 谷口 新一(北陸電力) 柳原 正年(自営業) 加藤 政昭(金沢市教員) 山元加津子(松任市教員)
	初級英会話	14年5月18日(土)～ 14年7月27日(土) 13時00分～14時30分 (計10日間15時間)	20名	6,800円	陸 君(京都文教大学 助教授)
	入門ドイツ語	14年5月18日(土)～ 14年7月13日(土)(毎週土曜日) 10時00分～12時00分 (計8回16時間)	20名	7,800円	黒田 廉(人文学部 助教授)
	山歩きの楽しみ(その1)	14年5月18日(土)～14年5月19日(日) 講義:9時00分～12時00分(計2日間9時間) 登山:9時00分～16時00分	15名	5,800円	福田 明夫(教育学部 教授) 増田恭次郎(理学部 講師) 宇井 啓高(教育学部 教授)

	講座名	開設期間	定員	受講料	講師氏名(所属・職名)
【教養講座】	日常の音と映像を読み解く	講義：9時00分～12時00分(計2日間9時間) 登山：9時00分～16時00分 14年5月22日(水)～ 14年6月26日(水)(毎週水曜日) 19時00分～20時30分 (計6日間9時間)	30名	5,800円	増田 恭次郎(理学部 講師) 宇井 啓高(教育学部 教授) 古川 政明(教育学部 教授) 森田 信一(教育学部 教授) 深見友紀子(教育学部 助教授) 苦米地義久(環境音楽作曲演奏家) 生明 俊雄(サウンドビレッジ) 石塚 真美(作曲声楽・ピアノ演奏演出家) 鼓 みどり(教育学部 助教授) 上山 輝(教育学部 講師)
	日本の言語文化からみた越中	14年6月1日(土)～ 14年6月29日(土)(毎週土曜日) 13時30分～15時00分 (計5日間7.5時間)	30名	5,800円	中井 清一(人文学部 助教授) 小助川 貞次(人文学部 教授) 二村 文人(人文学部 教授) 山口 幸祐(人文学部 教授)
	政治・経済の変動と法	14年6月6日(木)～ 14年7月4日(木)(毎週木曜日) 18時30分～20時00分 (計5日間7.5時間)	30名	5,800円	篠原 廉(経済学部 助教授) 志津田一彦(経済学部 教授) 角森 正雄(経済学部 教授) 近藤 和哉(経済学部 助教授) 秋葉 悦子(経済学部 助教授)
	I T講座(I) ワードプロセッサを活用して電子小説を執筆しよう!	14年6月8日(土)～14年6月9日(日) 9時30分～16時30分 (計2日間12時間)	30名	6,800円	高井 正三(総合情報処理センター 助教授) 畑 篤(総合情報処理センター 技術専門職員)
	I T講座(II) 表計算ソフトウェアを実生活で活用しよう!	14年6月22日(土)～14年6月23日(日) 9時30分～16時30分 (計2日間12時間)	30名	6,800円	畑 篤(総合情報処理センター 技術専門職員) 谷崎 文寛(総合情報処理センター 技術補佐員)
	I T講座(III) 写真集を出版しよう!	14年7月6日(土)～14年7月7日(日) 9時30分～16時30分 (計2日間12時間)	30名	6,800円	高井 正三(総合情報処理センター 助教授) 布村 紀男(総合情報処理センター 技術補佐員)
	I T講座(IV) プレゼンテーションを楽しもう!	14年7月20日(土)～14年7月21日(日) 9時30分～16時30分 (計2日間12時間)	30名	6,800円	高井 正三(総合情報処理センター 助教授) 布村 紀男(総合情報処理センター 技術補佐員)
	I T講座(V) ホームページを楽しく作ろう!	14年8月3日(土)～14年8月4日(日) 9時30分～16時30分 (計2日間12時間)	30名	6,800円	畑 篤(総合情報処理センター 技術専門職員) 谷崎 文寛(総合情報処理センター 技術補佐員)
	教師のための情報教育実践力講座	14年8月12日(月)～14年8月20日(火) 13時00分～17時00分 (8月20日は13時00分～16時00分計2日間12時間)	20名	6,800円	小川 亮(教育学部 助教授)
【健康・スポーツ講座】	健康・スポーツ教室 シニアサッカー教室	14年5月26日(日)～14年9月15日(日) 9時00分～12時00分 (計7日間20時間)	30名	7,800円	堀田 朋基(教育学部 助教授) 水谷 秀樹(教育学部 助教授) 布村 忠広(教育学部 教授)
	健康・スポーツ教室 動きをととして「からだ気づき」・「体ほぐし」	14年6月22日(土)～ 14年7月27日(土)(毎週土曜日) 14時30分～16時00分 (計5日間7.5時間)	20名	5,800円	布村 忠広(教育学部 教授)
	健康・スポーツ教室 ゴルフ(初級者)コース	14年8月1日(土)～14年8月9日(金) (ただし、土・日は除く)	20名	6,800円	西川 友之(教育学部 教授) 大川 信行(教育学部 助教授) 広田 憲治(呉羽C・C所属プロ)
	健康・スポーツ教室 ジョギング・ランニングコース	14年8月19日(月)～14年9月13日(金)	15名	7,800円	山地 啓司(教育学部 教授)
	【体験講座】	ITC World in TOYAMA —インターネットとロボットで知るネットワーク社会—	14年7月20日(土)～14年7月21日(日) 10時00分～16時00分 (計2日間10時間)	20名	無料
考えるものづくり—創造性の涵養—		14年8月1日(木)～14年8月2日(金) 9時30分～16時00分 10時00分～17時00分 (計2日間12時間)	45名 (中学)	無料	升方 勝巳(工学部 教授) 北村 岩雄(工学部 技官) 坂上 岩太(工学部 教授) 佐藤 雅弘(工学部 助教授) 田原 稔(工学部 助手) 米田 政明(工学部 教授) 長谷 博行(工学部 助教授) 丸山 博(工学部 技官) 唐 政(工学部 教授) 石井 雅博(工学部 講師) 田村 宏樹(工学部 教務職員) 塩野 和章(工学部 教授) 西野 清一(工学部 助教授) 岡根 正樹(工学部 助手) 友坂 敏信(工学部 技官) 伊藤 紀男(工学部 教授) 桐 昭弘(工学部 技官) 小平 憲一(工学部 教授) 池野 進(工学部 教授) 松田 健二(工学部 助教授) 川畑 常真(工学部 技官) 二宮 英治(工学部 技官)

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異動前の所属官職	異 動 内 容
採 用	14. 4. 1	魚住 明生		助教授 教育学部 (技術教育)
	"	吉見 昌弘		助教授 教育学部 (家政教育)
	"	青木 一真		講 師 教育学部 (理科教育)
	"	藤井 昭彦		教 諭 教育学部附属小学校
	"	松田 康子		教 諭 教育学部附属中学校
	"	荒井恵美子		教 諭 教育学部附属中学校
	"	中野 幸子		教 諭 教育学部附属養護学校
	"	書川 隆行		教 諭 教育学部附属養護学校
	"	野原 秀年		教 諭 教育学部附属養護学校
	"	網谷 優子		教 諭 教育学部附属養護学校
	"	加藤 雄一		教 諭 教育学部附属養護学校
	"	荒木 直美		教 諭 教育学部附属養護学校
	"	福江 厚啓		教 諭 教育学部附属幼稚園
	"	坂 幸夫		教 授 経済学部 (経済学科政策科学)
	"	高見 茂雄		教 授 経済学部 (経営学科経営学)
	"	三浦 哲男		助教授 経済学部 (経営法学科企業関係法)
	"	伊藤 嘉規		講 師 経済学部 (経営法学科基礎法)
	"	香川 崇		講 師 経済学部 (経営法学科民事法)
	"	西村 暢史		講 師 経済学部 (経営法学科企業関係法)
	"	唐渡 広志		講 師 経済学部 (経済学科政策科学)
	"	高松 衛		講 師 工学部 (知能情報工学科マルチモーダル情報工学)
	"	張 焱		講 師 工学部 (物質生命システム工学科応用化学)
	"	高橋 春男	(独立行政法人国立少年自然の家国立 立山少年自然の家事業課業務係主任)	経理部契約室契約第一係主任
	"	久我 真		文部科学事務官 (附属図書館情報管理課)
	"	赤丸 悟士		文部科学技官 (水素同位体科学研究センター)
	"	中三川真知子		事務補佐員 (総務部総務課)
	"	五十嵐仁子		事務補佐員 (総務部総務課)
	"	三浦みより		事務補佐員 (総務部研究協力課)
	"	前田 洋美		事務補佐員 (総務部研究協力課)
	"	浅畑美香子		事務補佐員 (総務部研究協力課)
	"	榎 明美		事務補佐員 (経理部経理課)
	"	西野 英子		事務補佐員 (学生部学生課)
	"	横江 厚子		事務補佐員 (学生部学生課)
	"	増田 信子		事務補佐員 (学生部学生課)
	"	太田 昭子		事務補佐員 (学生部学生課)
	"	田島 順子		事務補佐員 (学生部厚生課)
	"	片山 進		技能補佐員 (学生部厚生課調理師)
	"	高瀬久美子		事務補佐員 (学生部入試課)
	"	山ノ下久美子		事務補佐員 (学生部留学生課)
	"	花田 博子		事務補佐員 (施設課)
	"	藤野 敏子		事務補佐員 (工学部)
	"	柿谷紀代子		事務補佐員 (工学部)
	"	山田 恵子		事務補佐員 (総務部総務課)
"	藤田 由佳		事務補佐員 (総務部企画室)	
"	佐藤 優子		事務補佐員 (経理部主計課)	
"	竹苗吾希子		事務補佐員 (経理部主計課)	
"	桑名 春雄		臨時用務員 (経理部契約室作業員)	
"	松田 新一		臨時用務員 (経理部契約室作業員)	
"	多賀 健治		臨時用務員 (学生部学生課作業員)	
"	中村 作三		臨時用務員 (学生部学生課作業員)	
"	村井由美子		臨時用務員 (学生部学生課作業員)	
"	木地 紀子		臨時用務員 (学生部学生課作業員)	
"	藤井 太門		臨時用務員 (学生部厚生課作業員)	

14. 4. 1	坂林眞喜子		臨時用務員 (学生部厚生課作業員)
"	並木三智子		臨時用務員 (学生部留学生課作業員)
"	高堂 弘		技能補佐員 (施設課機械操作手)
"	寺岡 千栄		事務補佐員 (附属図書館情報管理課)
"	竹澤 真弓		事務補佐員 (附属図書館情報管理課)
"	川原 京子		事務補佐員 (附属図書館情報管理課)
"	藤田 淳子		事務補佐員 (附属図書館情報サービス課)
"	齊藤 國雄		臨時用務員 (人文学部・理学部作業員)
"	高橋 武志		臨時用務員 (人文学部・理学部作業員)
"	藤野 智子		事務補佐員 (人文学部・理学部)
"	藤原 晴子		事務補佐員 (人文学部・理学部)
"	上野 美幸		事務補佐員 (人文学部・理学部)
"	吉野由紀子		事務補佐員 (人文学部・理学部)
"	堀 晴子		事務補佐員 (人文学部・理学部)
"	清水マリナ		技術補佐員 (人文学部・理学部)
"	松原 伸江		事務補佐員 (教育学部)
"	佐藤未知子		事務補佐員 (教育学部)
"	吉田 由紀		事務補佐員 (教育学部)
"	菊池さとみ		事務補佐員 (教育学部)
"	山中 順子		事務補佐員 (教育学部)
"	服部 芳伸		臨時用務員 (教育学部作業員)
"	中川 孝雄		臨時用務員 (教育学部作業員)
"	小橋 貢		臨時用務員 (教育学部作業員)
"	吉村 徳子		臨時用務員 (教育学部作業員)
"	館野 洋子		臨時用務員 (教育学部作業員)
"	見角 光子		臨時用務員 (教育学部炊婦)
"	大江 博美		臨時用務員 (経済学部作業員)
"	石川由貴子		事務補佐員 (工学部)
"	江川 秀子		事務補佐員 (工学部)
"	寺林 昌代		事務補佐員 (工学部)
"	伊東 孝枝		事務補佐員 (工学部)
"	加藤 幸子		事務補佐員 (工学部)
"	前川 清徳		臨時用務員 (工学部作業員)
"	高田 修		臨時用務員 (工学部作業員)
"	齋藤 益満		技術補佐員 (工学部)
"	西田 洋子		技能補佐員 (水素同位体科学研究センター)
"	布村 紀男		技術補佐員 (総合情報処理センター)
"	谷 寄 文寛		技術補佐員 (総合情報処理センター)
"	三橋 正博		技術補佐員 (総合情報処理センター)
"	藤井 友美		事務補佐員 (総合情報処理センター)
"	高橋 純		技術補佐員 (総合情報処理センター)
"	早河 秀章		技術補佐員 (総合情報処理センター)
"	山下 淳		技術補佐員 (総合情報処理センター)
"	綿貫 俊之		技術補佐員 (総合情報処理センター)
"	森田 和延		技術補佐員 (総合情報処理センター)
"	細川 薫		技術補佐員 (総合情報処理センター)
"	津田 邦史		技術補佐員 (総合情報処理センター)
"	柳澤健太郎		技術補佐員 (総合情報処理センター)
"	草山 智人		技術補佐員 (総合情報処理センター)
"	馬 鉄軍		講 師 (研究機関研究員) (水素同位体科学研究センター)
14. 4. 9	松井 輝代		臨時用務員 (教育学部炊婦)
"	堰免 芳子		臨時用務員 (教育学部炊婦)
"	仲谷千鶴子		臨時用務員 (教育学部炊婦)
"	藤井 香		臨時用務員 (教育学部炊婦)
14. 4. 10	山口 英紀		臨時用務員 (経理部契約室作業員)
14. 4. 11	山田 知訓		事務補佐員 (経済学部)
14. 4. 15	上田友一郎		技能補佐員 (経理部契約室自動車運転手)
昇 任	14. 4. 1	村井 文夫	助教授 人文学部 (言語文化学科ヨーロッパ言語文化)
"	"	阿部 美規	講 師 人文学部 (言語文化学科ヨーロッパ言語文化)
"	"	西村 隆	講 師 人文学部 (言語文化学科英米言語文化)
"	"	齋藤 清二	助教授 富山医科薬科大学医学部
"	"	堀田 朋基	助教授 教育学部 (保健体育)
			教 授 人文学部 (言語文化学科ヨーロッパ言語文化)
			助教授 人文学部 (言語文化学科英米言語文化)
			教 授 保健管理センター
			教 授 教育学部 (保健体育)

		金 奉吉	助教授 神戸大学経済経営研究所	教授 経済学部 (経済学科理論経済学)
		林 健治	助教授 経済学部 (経営学科経営学)	教授 経済学部 (経営学科経営学)
		垣田 直樹	助教授 経済学部 (経済学科応用経済学)	教授 経済学部 (経済学科応用経済学)
		堂谷 昌孝	助教授 経済学部 (経済学科理論経済学)	教授 経済学部 (経済学科理論経済学)
		松井 隆幸	助教授 経済学部 (経済学科比較経済論)	教授 経済学部 (経済学科比較経済論)
		高山龍太郎	講師 経済学部 (経済学科比較経済論)	助教授 経済学部 (経済学科比較経済論)
		飯田 敏	助教授 理学部 (物理学科物性物理学)	教授 理学部 (物理学科物性物理学)
		酒井 英男	助教授 理学部 (地球科学地球ダイナミクス)	教授 理学部 (地球科学地球ダイナミクス)
		中村 省吾	助教授 理学部 (生物圏環境科学科生物圏機能)	教授 理学部 (生物圏環境科学科生物圏機能)
		水島 俊雄	助手 理学部 (物理学科物性物理学)	助教授 理学部 (物理学科物性物理学)
		諸橋 昭一	助教授 工学部 (物質生命システム工学科プロセス工学)	教授 工学部 (物質生命システム工学科プロセス工学)
		山本 健市	助教授 工学部 (物質生命システム工学科プロセス工学)	教授 工学部 (物質生命システム工学科プロセス工学)
		森田 昇	助教授 千葉大学工学部	教授 工学部 (機械知能システム工学科設計生産工学)
		川口 清司	講師 工学部 (機械知能システム工学科エネルギー・環境工学)	助教授 工学部 (機械知能システム工学科エネルギー・環境工学)
		白山 一男	工学部総務係長	富山医科薬科大学総務部庶務課専門員
		高邑 英市	経理部主計課総務係長	高岡短期大学学生課専門員
		栗林 裕子	附属図書館情報管理課	高岡短期大学庶務課図書係長
		木下 晋	経理部主計課管財係主任	富山工業高等専門学校会計課用度係長
		本澤 誉子	総務部人事課	富山商船高等専門学校庶務課人事係人事主任
		野村 正	施設課電気係長	施設課専門員
		四津 忠一	附属図書館情報サービス課参考調査係長	附属図書館情報管理課図書館専門員
		寺林 忠男	学生部学生課教養教育係主任	学生部学生課専門職員
		山上 康彦	工学部教務係主任	学生部厚生課専門職員
		大門 聡	教育学部教務係主任	学生部入試課専門職員 (大学入試担当)
		藤田 一吉	施設課企画係主任	人文学部・理学部専門職員 (企画調整第二担当)
		武田 正夫	工学部総務係主任	人文学部・理学部総務第一係長
		中村 義浩	総務部人事課任用係主任	経済学部総務係長
		増山 照夫	文部科学技官 (教育学部)	教育学部技術専門職員
		杉田 昇	文部科学事務官 (経理部経理課)	経理部経理課情報企画係主任
		鳥海衣美子	文部科学事務官 (経理部主計課)	経理部主計課管財係主任
		木林 玄子	文部科学事務官 (人文学部・理学部)	人文学部・理学部総務第一係主任
		岡元祐里子	文部科学事務官 (経済学部)	経済学部総務係主任
		樽井 浩志	文部科学事務官 (経済学部)	経済学部教務係主任
転 任	14. 4. 1	佐々木重洋	助教授 人文学部	助教授 名古屋大学 (大学院文学研究科)
		野平 慎二	助教授 琉球大学教育学部	助教授 教育学部 (学校教育)
		塚田 章	助手 工学部	助教授 富山商船高等専門学校情報工学科
		野澤 和子	経理部契約室契約第三係主任	高岡短期大学会計課用度係管理主任
		有沢 隆一	人文学部・理学部教務第一係主任	高岡短期大学学生課学務係教務主任
		佐野 勤	学生部厚生課企画係長	富山工業高等専門学校学生課専門職員 (学務担当)
		串田 純恵	文部科学事務官 (経理部主計課)	富山商船高等専門学校会計課総務係
		中波 憲子	経済学部教務係主任	富山商船高等専門学校学生課教務係教務情報主任
		川原 智徳	文部科学技官 (総合情報処理センター)	鹿児島大学歯学部業務課情報処理係
		伊野不二夫	富山医科薬科大学総務部庶務課専門員	総務部企画室室長補佐
		竹下 義美	高岡短期大学学生課専門員	学生部厚生課専門員 (学生支援担当)
		伏喜 俊至	富山工業高等専門学校会計課総務係長	経理部主計課財務係長
		野澤 潤吉	富山医科薬科大学教務部図書課情報管理係長	附属図書館情報サービス課学術情報係長
		波間 雄司	富山工業高等専門学校学生課専門職員 (学務担当)	経済学部教務係長
		松下 慶子	富山工業高等専門学校会計課総務係共済主任	経理部契約室契約第三係主任
		寺田 明弘	高岡短期大学会計課用度係管理主任	施設課企画係主任
		織田 世起	高岡短期大学学生課学務係教務主任	人文学部・理学部教務第一係主任
		小林 雄二	富山商船高等専門学校学生課教務係教務情報主任	経済学部教務係主任
		山田 洋一	富山商船高等専門学校庶務課人事係人事主任	工学部総務係主任
		鈴木 律文	静岡大学経理部会計事務センター室	文部科学技官 (施設課)
配 置 換	14. 4. 1	山本 宏	総務部総務課長	岐阜大学総務部総務課長
		鈴木由喜男	総務部研究協力課長	山形大学経理部経理課長
		愛場 優治	経理部主計課長	東京農工大学経理部主計課長
		小越 信行	学生部厚生課長	東京学芸大学学務部学生サービス課長
		大内 知行	学生部入試課長	東京工業高等専門学校学生課長
		星野茂登一	附属図書館情報管理課長	新潟大学附属図書館情報管理課長
		新屋 秀幸	島根大学事務局長	事務局長
		安念 英憲	上越教育大学総務部庶務課長	総務部総務課長

14. 4. 1	谷口之武男	高岡短期大学庶務課長	総務部研究協力課長	
"	小林一二三	大分大学会計課長	経理部主計課長	
"	関矢 功	上越教育大学教務部入学主幹	学生部厚生課長	
"	眞野 初	沼津工業高等専門学校学生課長	学生部入試課長	
"	五十嵐輝雄	メディア教育開発センター事業部情報資料室長	附属図書館情報管理課長	
"	杉本 周平	総務部企画室室長補佐	総務部総務課課長補佐	
"	雁田 彰	総務部総務課課長補佐	総務部人事課専門員 (研修・サービス担当)	
"	吉沢 誠	経理部主計課専門員	経理部主計課課長補佐 (法規・監査担当を免ずる)	
"	友坂 義一	人文学部・理学部事務長補佐	経理部主計課専門員 (法規・監査担当)	
"	北川 功	経理部契約室室長補佐	人文学部・理学部事務長補佐	
"	石坂 淳子	総務部企画室大学改革係長	総務部企画室企画係長	
"	門前 剛二	教育学部総務係長	総務部企画室専門職員 (大学評価担当)	
"	東 敏	経理部経理課収入係長	経理部経理課経理係長	
"	河上 孝	経理部経理課支出係長	経理部契約室契約第三係長	
"	大聖寺一孝	教育学部専門職員	経理部契約室契約第二係長 (企画調整担当を免ずる)	
"	清水良太郎	経理部契約室契約第一係長	経理部主計課総務係長	
"	眞田 敏江	経理部契約室契約第二係長	経理部経理課給与係長	
"	羽広 孝司	学生部学生課総務係長	経理部契約室契約第一係長	
"	柴田 利治	人文学部・理学部教務第一係長	学生部厚生課専門職員	
"	濱野 松男	学生部厚生課専門職員	学生部厚生課厚生企画係長	
"	石川 裕史	学生部厚生課専門職員	学生部学生課教務係長	
"	荒井 誠一	総務部研究協力課専門職員	学生部学生課総務係長	
"	堀 周一	学生部厚生課専門職員	学生部留学生課専門職員	
"	岩永 晴雄	教育学部専門職員	人文学部・理学部専門職員 (企画調整第一担当) (附属学校企画担当を免ずる)	
"	柳田 邦雄	学生部厚生課専門職員	人文学部・理学部教務第一係長	
"	宮原 進	経済学部総務係長	教育学部総務係長	
"	能手 哲治	経理部契約室契約第三係長	教育学部専門職員 (附属学校企画担当)	
"	大場 和夫	経済学部専門職員	教育学部専門職員 (企画調整担当)	
"	塚田 健夫	経理部経理課給与係長	経済学部専門職員 (企画調整担当)	
"	黒田 芳雄	学生部学生課教務係長	経済学部専門職員	
"	齋藤 純一	人文学部・理学部総務第一係長	工学部総務係長	
"	山田 正芳	附属図書館情報サービス課学術情報係長	附属図書館情報サービス課参考調査係長	
"	生田 孝行	総務部人事課給与係主任	総務部人事課任用係主任	
"	松井 博文	総務部企画室大学改革係主任	総務部企画室企画係主任	
"	北村 均	総務部企画室大学改革係主任	総務部企画室企画係主任	
"	飯野るみ子	学生部留学生課留学生係主任	総務部研究協力課国際交流係主任	
"	桐井久美枝	経理部経理課支出係主任	総務部研究協力課研究協力係主任	
"	村道 俊一	経理部契約室契約第三係主任	経理部主計課管財係主任	
"	小森 功	経理部経理課給与係主任	経理部主計課監査係主任	
"	山田 勇一	経理部経理課情報企画係主任	経理部経理課給与係主任	
"	室 智子	経理部契約室契約第一係主任	経理部経理課経理係主任	
"	牧田 秀晴	人文学部・理学部総務第一係主任	経理部経理課経理係主任	
"	竹田 充輝	経理部経理課支出係主任	経理部経理課経理係主任	
"	北 治夫	経理部契約室契約第一係主任	経理部経理課情報企画係主任	
"	中三川敏之	人文学部・理学部総務第二係主任	経理部契約室契約第一係主任	
"	池田真紀美	経理部経理課収入係主任	経理部契約室契約第一係主任	
"	細田 和義	経理部契約室契約第四係主任	経理部契約室契約第二係主任	
"	林 秀一	学生部入試課入学試験係主任	人文学部・理学部教務第二係主任	
"	光澤 和嗣	人文学部・理学部教務第二係主任	教育学部教務係主任	
"	森田 智	経済学部教務係主任	工学部教務係主任	
"	山田 浩司	経理部主計課司計係主任	工学部総務係主任	
"	谷川 通	総務部総務課	総務部人事課	
"	脇山 由香	工学部	経理部契約室	
"	石崎 健生	総務部研究協力課	経理部契約室	
"	堀田 誠一	経理部主計課	経理部契約室	
"	山内 栄明	学生部厚生課	経済学部	
併 任	14. 4. 1	山本 孝一	教授 人文学部	評議員 (～16. 3. 31)
	"	渡邊 信	教授 教育学部	評議員 (～16. 3. 31)
	"	八木 保夫	教授 経済学部	評議員 (～16. 3. 31)

		渡邊 義之	教授 理学部	評議員 (～16. 3. 31)
		池野 進	教授 工学部	評議員 (～16. 3. 31)
		山口 幸祐	教授 人文学部	評議員 (～16. 3. 31)
		山西 潤一	教授 教育学部	評議員 (～16. 3. 31)
		芳賀 健一	教授 経済学部	評議員 (～16. 3. 31)
		金森 寛	教授 理学部	評議員 (～16. 3. 31)
		米田 政明	教授 工学部	評議員 (～16. 3. 31)
		齋藤 清二	教授 保健管理センター	保健管理センター所長 (～16. 3. 31)
		東川 和夫	教授 理学部	理学部数学科長 (～15. 3. 31)
		石川 義和	教授 理学部	理学部物理学科長 (～15. 3. 31)
		平井 美朗	教授 理学部	理学部化学科長 (～15. 3. 31)
		内山 実	教授 理学部	理学部生物学科長 (～15. 3. 31)
		小林 武彦	教授 理学部	理学部地球科学科長 (～15. 3. 31)
		黒田 英世	教授 理学部	理学部生物圏環境科学科長 (～15. 3. 31)
		中谷 訓幸	教授 工学部	工学部電気電子システム工学科長 (～15. 3. 31)
		山淵 龍夫	教授 工学部	工学部知能情報工学科長 (～15. 3. 31)
		松木 賢司	教授 工学部	工学部機械知能システム工学科長 (～15. 3. 31)
		北野 博巳	教授 工学部	工学部物質生命システム工学科長 (～15. 3. 31)
		米原 俊孝	助手 経済学部	極東地域研究センター (～15. 3. 31)
		佐藤 裕子	助手 経済学部	極東地域研究センター (～15. 3. 31)
		雨宮 洋司	教授 教育学部	教育学部附属小学校長 (～16. 3. 31)
		清水 建次	教授 教育学部	教育学部附属中学校長 (～16. 3. 31)
		芝垣 正光	教授 教育学部	教育学部附属養護学校長 (～16. 3. 31)
		原 稔	教授 教育学部	教育学部附属幼稚園長 (～16. 3. 31)
		野村 正	施設課専門員	施設課電気係長
併任解除	14. 4. 1	氏家 治	理学部地球科学科長	併任解除
		山内 栄明	学生部厚生課	経済学部の併任解除
職務命令	14. 4. 1	松崎 一平	教授 人文学部	教養教育副実施機構長 (～16. 3. 31)
		井上 弘	教授 理学部	放射性同位元素総合実験室長 (～16. 3. 31)
		赤丸 悟士	水素同位体科学研究センター	技術官 技術部第一技術班員
		川原 智徳	総合情報処理センター	技術官を免ずる 技術部第一技術班員を免ずる
		友坂 義一	経理部主計課専門員	経理部法人会計準備室長
		伏喜 俊至	経理部主計課財務係長	経理部法人会計準備室主査 (法人会計財務担当)
		太田 則春	経理部経理課情報企画係長	経理部法人会計準備室主査 (法人会計システム担当)
任命	14. 4. 1	吾妻 一興	宮城教育大学教授教育学部	運営諮問会議委員に任命 (～16. 3. 31)
		石坂 誠一		運営諮問会議委員に任命 (～16. 3. 31)
		井上 孝美		運営諮問会議委員に任命 (～16. 3. 31)
		上野 隆三		運営諮問会議委員に任命 (～16. 3. 31)
		中尾 哲雄		運営諮問会議委員に任命 (～16. 3. 31)
		中沖 豊		運営諮問会議委員に任命 (～16. 3. 31)
		橋本 茂信		運営諮問会議委員に任命 (～16. 3. 31)
		平能富太郎		運営諮問会議委員に任命 (～16. 3. 31)
		福岡 隆		運営諮問会議委員に任命 (～16. 3. 31)
		山田 圭蔵		運営諮問会議委員に任命 (～16. 3. 31)
育児休業	14. 4. 11	京極真由美	文部科学技官 (工学部)	職務復帰
退職	14. 4. 1	山田 恵子	事務補佐員 (総務部総務課)	平成14年3月31日限り退職
		藤田 由佳	事務補佐員 (総務部企画室)	平成14年3月31日限り退職
		佐藤 優子	事務補佐員 (経理部主計課)	平成14年3月31日限り退職
		竹苗吾希子	事務補佐員 (経理部主計課)	平成14年3月31日限り退職
		金田 稔	技能補佐員 (経理部契約室自動車運転手)	平成14年3月31日限り退職
		森田 憲治	技能補佐員 (経理部契約室自動車運転手)	平成14年3月31日限り退職
		黒畑 繁盛	臨時用務員 (経理部契約室作業員)	平成14年3月31日限り退職
		五十嵐清平	臨時用務員 (経理部契約室作業員)	平成14年3月31日限り退職
		桑名 春雄	臨時用務員 (経理部契約室作業員)	平成14年3月31日限り退職
		多賀 健治	臨時用務員 (学生部学生課作業員)	平成14年3月31日限り退職
		中村 作三	臨時用務員 (学生部学生課作業員)	平成14年3月31日限り退職
		村井由美子	臨時用務員 (学生部学生課作業員)	平成14年3月31日限り退職
		木地 紀子	臨時用務員 (学生部学生課作業員)	平成14年3月31日限り退職

”	片山 進	技能補佐員 (学生部厚生課調理師)	平成14年3月31日限り退職
”	藤井 太門	臨時用務員 (学生部厚生課作業員)	平成14年3月31日限り退職
”	坂林眞喜子	臨時用務員 (学生部厚生課作業員)	平成14年3月31日限り退職
”	並木三智子	臨時用務員 (学生部留学生課作業員)	平成14年3月31日限り退職
”	高堂 弘	技能補佐員 (施設課機械操作手)	平成14年3月31日限り退職
”	藤田 淳子	事務補佐員 (附属図書館情報管理課)	平成14年3月31日限り退職
”	川原 京子	事務補佐員 (附属図書館情報管理課)	平成14年3月31日限り退職
”	竹澤 真弓	事務補佐員 (附属図書館情報管理課)	平成14年3月31日限り退職
”	寺岡 千栄	事務補佐員 (附属図書館情報管理課)	平成14年3月31日限り退職
”	高瀬 雅美	事務補佐員 (附属図書館情報サービス課)	平成14年3月31日限り退職
”	藤野 智子	事務補佐員 (人文学部・理学部)	平成14年3月31日限り退職
”	湯野 秋子	事務補佐員 (人文学部・理学部)	平成14年3月31日限り退職
”	上野 美幸	事務補佐員 (人文学部・理学部)	平成14年3月31日限り退職
”	吉野由紀子	事務補佐員 (人文学部・理学部)	平成14年3月31日限り退職
”	堀 晴子	事務補佐員 (人文学部・理学部)	平成14年3月31日限り退職
”	齊藤 國雄	臨時用務員 (人文学部・理学部作業員)	平成14年3月31日限り退職
”	高橋 武志	臨時用務員 (人文学部・理学部作業員)	平成14年3月31日限り退職
”	松原 伸江	事務補佐員 (教育学部)	平成14年3月31日限り退職
”	佐藤末知子	事務補佐員 (教育学部)	平成14年3月31日限り退職
”	西塚 麗子	事務補佐員 (教育学部)	平成14年3月31日限り退職
”	菊池さとみ	事務補佐員 (教育学部)	平成14年3月31日限り退職
”	山中 順子	事務補佐員 (教育学部)	平成14年3月31日限り退職
”	中西 義夫	臨時用務員 (教育学部作業員)	平成14年3月31日限り退職
”	中川 孝雄	臨時用務員 (教育学部作業員)	平成14年3月31日限り退職
”	見角 光子	臨時用務員 (教育学部炊婦)	平成14年3月31日限り退職
”	吉村 徳子	臨時用務員 (教育学部作業員)	平成14年3月31日限り退職
”	館野 洋子	臨時用務員 (教育学部作業員)	平成14年3月31日限り退職
”	小橋 貢	臨時用務員 (教育学部作業員)	平成14年3月31日限り退職
”	大江 博美	臨時用務員 (経済学部作業員)	平成14年3月31日限り退職
”	源甲斐美里	事務補佐員 (工学部)	平成14年3月31日限り退職
”	江川 秀子	事務補佐員 (工学部)	平成14年3月31日限り退職
”	寺林 昌代	事務補佐員 (工学部)	平成14年3月31日限り退職
”	伊東 孝枝	事務補佐員 (工学部)	平成14年3月31日限り退職
”	高松 衛	事務補佐員 (工学部)	平成14年3月31日限り退職
”	加藤 幸子	事務補佐員 (工学部)	平成14年3月31日限り退職
”	前川 清徳	臨時用務員 (工学部作業員)	平成14年3月31日限り退職
”	高田 修	臨時用務員 (工学部作業員)	平成14年3月31日限り退職
”	西田 洋子	技能補佐員 (水素同位体科学研究センター)	平成14年3月31日限り退職
”	増川史英子	事務補佐員 (総合情報処理センター)	平成14年3月31日限り退職
”	布村 紀男	技術補佐員 (総合情報処理センター)	平成14年3月31日限り退職
”	谷 崙 文寛	技術補佐員 (総合情報処理センター)	平成14年3月31日限り退職
”	河上 明子	技術補佐員 (総合情報処理センター)	平成14年3月31日限り退職
”	三橋 正博	技術補佐員 (総合情報処理センター)	平成14年3月31日限り退職
”	高橋 純	技術補佐員 (総合情報処理センター)	平成14年3月31日限り退職
”	早河 秀章	技術補佐員 (総合情報処理センター)	平成14年3月31日限り退職
”	中村 誠	技術補佐員 (総合情報処理センター)	平成14年3月31日限り退職
”	山下 淳	技術補佐員 (総合情報処理センター)	平成14年3月31日限り退職
”	細川 薫	技術補佐員 (総合情報処理センター)	平成14年3月31日限り退職
”	森田 和延	技術補佐員 (総合情報処理センター)	平成14年3月31日限り退職
”	綿貫 俊之	技術補佐員 (総合情報処理センター)	平成14年3月31日限り退職
”	津田 邦史	技術補佐員 (総合情報処理センター)	平成14年3月31日限り退職
”	林 弘貴	技術補佐員 (総合情報処理センター)	平成14年3月31日限り退職
”	柳澤健太郎	技術補佐員 (総合情報処理センター)	平成14年3月31日限り退職
”	中田 典子	技能補佐員 (研究支援推進員) (機器分析センター)	平成14年3月31日限り退職
”	山本 雅子	技能補佐員 (研究支援推進員) (機器分析センター)	平成14年3月31日限り退職
”	金 莹	講師 (研究機関研究員) (水素同位体科学研究センター)	平成14年3月31日限り退職
”	馬 鉄軍	講師 (研究機関研究員) (水素同位体科学研究センター)	平成14年3月31日限り退職
”	巴 殿君	講師 (研究機関研究員) (極東地域研究センター)	平成14年3月31日限り退職

学 内 諸 報

教育学部附属学校（園）長の改選

教育学部附属学校の校長及び園長の任期が平成14年3月31日をもって満了することに伴い、教育学部教授会は次期校長及び園長の候補者選挙を行い、附属小学校長に雨宮洋司教授、同中学校長に清水健次教授、同養護学校長に芝垣正光教授、同幼稚園長に原 稔教授を選出し、平成14年4月1日付けでそれぞれ就任されました。雨宮教授及び芝垣教授は新任、清水教授及び原教授は再任。任期は平成14年4月1日から2年間。



附属小学校長に就任された雨宮教授は、昭和39年3月東京商船大学商船学部を卒業後、同39年10月川崎汽船（株）一等航海士、同42年4月運輸省航海訓練所運輸教官を経て同45年4月富山商船高等専門学校助手に採用され、同47年4月同講師、同63年4月同助教授、平成4年4月同教授、同12年4月富山大学教育学部教授となり、現在に至っています。この間、昭和45年3月に東京商船大学商船学専攻科を、平成5年3月に富山大学大学院経済学研究科修士課程地域・経済政策専攻を修了されています。

専門は、国際交通経済論
経済学修士（富山大学）
静岡県出身

（就任の抱負）

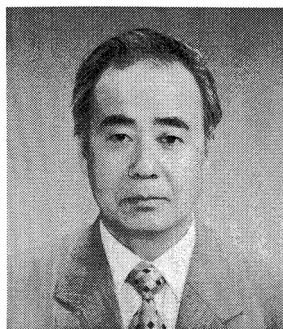
子供の奔放で、無邪気で、無防備ともいえる振る舞いとその美しい姿に、強く惹かれることが多い。日本の子

供達だけでなく、ウラジオストク、大連そしてソウルの小学生達にも共通していえることであるので、それは意識して羽ばたきを開始する"ヒト"の原点が小学校の課程にあることを私たちに示しているように思えてなりません。

このたび、私はこのようなすばらしい子供達が集う小学校しかも伝統ある教育学部附属小学校の校長に選任されたことを誇りに思うと共に身が引き締まる思いであります。

新世紀にふさわしい我が国の教育研究体制づくりは、急ピッチで展開されようとしており、私たちを取り巻く環境は慌ただしさを増しておりますが、基本的人権を尊び、輝かしい未来を切り開いていくことが出来る人間の原点を"教え育む"と言う崇高な行為は何ら変わることはありません。これまで築いて来られた諸先生方の努力が報われるように、附属小学校の存続問題や新指導要領の軟着陸問題に私は微力ながら取り組んでいきたいと思っています。

どうぞ、皆様方のご指導とご鞭撻をよろしくお願いいたします。



附属中学校長に再任された清水教授は、昭和45年3月富山大学文理学部を卒業、同48年3月大阪大学大学院基礎工学研究科修士課程を修了、同51年3月同博士課程を修了後、同年4月日本学術振興会員富山大学教育学部講師に採用され、同54年4月同助教授、平成3年4月同教授となり、現在に至っています。この間、平成12年4月から同14年

3月まで教育学部附属中学校長を併任されています。

専門は、磁性物理
工学博士（大阪大学）
富山県出身

（就任の抱負）

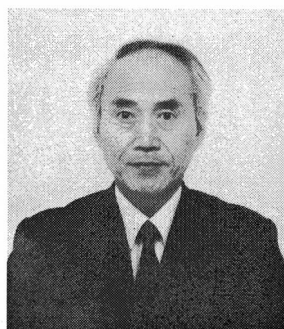
このたび、教育学部附属中学校長に再任されました。教員養成大学・学部の再編統合問題と絡んで附属学校を取り巻く環境は厳しいものがあり、改めて職責の重大さを感じているところです。

この4月から完全週休5日制のもとで新学習指導要領が実施となり、教育環境が従来と大きく変化しようとしています。附属中学校では保護者の協力のもと、学校行事、PTA活動など様々な点で改革を進めて参りました。3学期制から2学期制への移行もその一つです。

附属学校の使命の一つは、学部の研究に協力することですが、現在、学部と連携した教育実践研究が強く求められています。重要なことは、その研究が公立学校の求

めるものであり、その結果が公立学校の教育に反映されるものでなければなりません。また、公立学校では確かな学力の育成を目指し、少人数学級のための教員の加配や施設整備において充実が図られている現在、附属学校が取り残されることのないよう努力しなければならないと思っています。

皆様方には、今後とも、ご指導とご支援を賜りますようお願いいたします。



附属養護学校長に就任された芝垣教授は、昭和46年3月福井大学教育学部を卒業、同50年3月東北大学大学院教育学研究科修士課程を修了後、同52年4月アメリカ合衆国カリフォルニア大学ロサンゼルス校医学センター脳研究所研究員、同53年4月愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所生理学部門研究員、同61年4月同主任研究員、平成2年5月名古屋芸術大学一般教育部教授を経て同12年4月富山大学教育学部教授に採用され、現在に至っています。

専門は、障害児の心理・生理・病理

教育学修士（東北大学）、医学博士（岐阜大学）

石川県出身

（就任の抱負）

これまで2年間、週1回附属養護学校を訪問して授業を参観し、子ども達と一緒に昼の給食を食べてきました。先生方の献身的な努力でもって、子ども達が生き生きと楽しく毎日学校生活を送っているのを見てきました。この雰囲気はぜひ続けて行われるよう努めたい。

また、年1回の教育実践研究に向けて、大学と連携を密にとり、先生方は子ども達が下校した後、夜遅くまで準備に忙しくしておられました。一般の学校ではあまり見られない光景です。これにも是非支援していきたい。ところで、学生は教育実習中と介護等体験実施時のみ、附属養護学校へ行きますが、それらが終わると行かなくなります。そこで、学生がボランティア等で是非同学校を訪問することを推進していきたい。

これらのために、どうぞ皆様方のご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



附属幼稚園長に再任された原教授は、昭和42年3月群馬大学工学部を卒業、同44年3月同大学大学院工学研究科修士課程を修了、同47年3月北海道大学大学院理学研究科博士課程を単位取得後、同年4月富山大学教育学部助手に採用され、同63年11月同助教授、平成7年12月に同教授となり、現在に至っています。この間、平成12年4月から同14年3月まで教育学部附属幼稚園長を併任されています。

専門は、理科教育、分析化学

理学博士（北海道大学）

神奈川県出身

（就任の抱負）

初めて幼稚園というところに足を踏み入れた2年前、幼児教育の素人に果たして園長が務まるのか非常に不安でしたが、教育学部の先生方、本園の教職員及び保護者に支えられて、なんとか今日まで過ごしてきました。

この先の2年間は、日本の教員養成学部及び附属学校園にとっては大変革の時期に当たります。「あり方懇報告書」の附属学校園批判には耳を傾けねばなりません、あれで本当に大丈夫かという懸念も聞こえてきます。また、この間に富山大学の統合・再編問題にも結論が出るでしょうし、その結果如何では、附属学校園が更に影響を受けることは避けられそうもありません。

この他にも山積みしている難しい問題に取り組みなければなりません。皆様方には今まで以上のご指導とご支援を賜りますようお願いいたします。

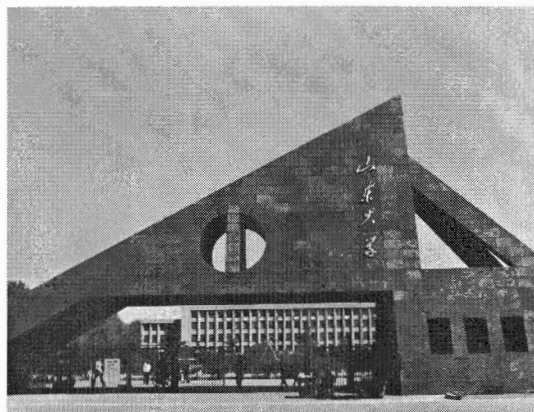
中国山東大学と大学間学術交流協定を締結

平成14年4月1日付けで、本学と中国山東大学との間で大学間学術交流協定が締結されました。

山東大学は、山東大学（1901年設立）、山東医科大学（1911年設立）及び山東工業大学（1949年設立）の3大学が2000年4月に統合した、自然科学、人文科学及び社会科学の諸分野を擁する総合大学です。また、約11,000人の教職員、約32,000人の学生を有する中国教育部直属の重点大学の一つでもあります。

これまで本学では、工学部が山東大学の前身の一つである山東工業大学と部局間交流協定を締結し交流を図ってきましたが、今回の大学間協定締結により、理工系だけでなく人文系、社会系も含めた幅広い分野での研究者・学生の活発な交流が進められることとなります。

さらに、今回、中国山東省にあって地理的にも近い同大学との大学間協定が締結されたことにより、本学が推進する環日本海地域との交流が一層推進されるものと期待されます。



地域共同研究センターがサテライト技術相談オフィスを開設

地域共同研究センターでは、4月17日（水）にサテライト技術相談オフィスを高岡市商工会議所に開設しました。このサテライト技術相談オフィスは、産学連携を真に実りの多いものとするために、富山県内各地（9市）に出向いて、企業の個別の技術課題について無料で相談を受けるものです。今回は、昨年12月に開設した富山市に次ぐもので、会場では、高岡市内の企業からの熱心な技術相談に対し、本学教官が詳細な技術指導説明等を行っていました。



第38回機械工業見本市（M E X 金沢2002）に 本学が出展

4月18日（木）から同20日（土）までの間、金沢市で開催された第38回機械工業見本市（M E X 金沢2002）に、工学部と民間企業との共同研究の成果として、ストレスの定量評価技術、非侵襲的な生体計測技術、範凝固押出できる高強度アルミ合金インゴット及び機械加工できるセラミック粒子分散型アルミ合金複合材料の作成技術などの最先端の新技术が実物やパネルで展示されました。

また、理学部と工学部の技術シーズのパソコンによる展示や地域共同研究センターの産学連携のパネル展示も行われました。

ブースには、企業人や高校生など多くの見学者が訪れ、熱心な説明に聴き入っていました。



訃 報

◎ 川瀬 義之 本学名誉教授（元理学部教授）がご逝去されました。

川瀬義之 本学名誉教授（元理学部教授）には、平成14年4月7日に逝去されましたことをお知らせします。享年77歳。

ここにご生前のご功績とお人柄を偲び、心から哀悼の意を表します。



渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡航先国	目 的	期 間
外国出張	工学部	教授	椿 範立	中 国	合成燃料に関する技術交流	14. 4. 28 ～ 14. 5. 2
海外研修	経済学部	教授	清家 彰敏	中 国	日中友好30周年記念講演に出席	14. 4. 3 ～ 14. 4. 10
	人文学部	講師	林 夏生	韓 国	北東アジアの地域協力について調査・研究	14. 4. 3 ～ 14. 4. 8
	工学部	教授	熊澤 英博	フ ィ リ ピ ン	共同研究及び特許の打合せ	14. 4. 5 ～ 14. 4. 7
	人文学部	教授	湯川 純幸	連 合 王 国	国際ジェンダーと言語学会大会に出席	14. 4. 10 ～ 14. 4. 16
	経済学部	教授	桂木 健次	中 国	日本環境会議「アジア環境白書」に係わる資料収集	14. 4. 17 ～ 14. 4. 20
	工学部	助教授	高橋 隆一	ア メ リ カ 合 衆 国	2002年金属コーティングと薄膜に関する国際会議に出席, 発表	14. 4. 22 ～ 14. 4. 26
	経済学部	教授	小倉 利丸	スペイン, ドイツ	進歩的コミュニケーション協会(APC)のインターネット政策に関する会議に出席	14. 4. 25 ～ 14. 5. 4
	理学部	教授	清水 正明	韓国	資源環境地質学会等3学会合同大会において講演	14. 4. 25 ～ 14. 5. 1

主 要 行 事

本 部

- 4月3日 国立大学長・大学共同利用機関長等会議
(於：三田共用会議所)
- 4日 平成14年度富山大学新任教員説明会
事務局連絡会
- 5日 再編・統合検討委員会
- 8日 入学式 (於：富山市芸術文化ホール)
水質保全センター運営委員会
3大学懇談会 (於：富山医科薬科大学)
- 9日 年史編纂委員会
自己点検評価委員会
- 11日 平成14年度職員教養研修開講式
- 12日 評議会 (臨時)
再編・統合検討委員会
- 15日 事務局連絡会
富山大学の教育業績評価の確立に関する検討委員会
- 16日 運営会議
低温液化室運営委員会
放射性同位元素総合実験室運営委員会
- 17日 留学生センター日本語研修コース開講式
公務員採用試験説明会
- 18日 再編・統合検討委員会
- 19日 国立大学協会臨時総会 (於：学術総合センター)
- 20日 留学生バザー
- 22日 運営会議
新大学構想協議会 (於：高岡短期大学)
事務局連絡会
- 23日 組織運営体制の整備に関する検討委員会
事務協議会
- 25日 広報委員会
学生生活委員会
今後の施設整備に係る業務・組織等の情報交換会 (於：文部科学省)
- 26日 施設整備委員会
部局長会議
評議会
放射性同位元素総合実験室運営委員会 (持

ち回り)

30日 新大学構想協議会 (於：富山医科薬科大学)

人 文 学 部

- 4月3日 学部学生生活・就職指導委員会 (持ち回り)
- 5日 学部教務委員会
- 8日 学部将来計画委員会
- 9日 人文科学研究科委員会
教授会
学部入学試験委員会
- 10日 学部教務委員会
- 17日 緊急対策委員会
学部将来計画委員会
- 24日 学部教務委員会
学部予算委員会
人文科学研究科委員会
教授会
学部自己点検評価委員会

教 育 学 部

- 4月1日 教育方法改善 (FD) 推進検討委員会
- 3日 学部予算委員会
学部防火対策委員会
研究科委員会
- 4日 合否判定事前検討会
学部入学試験委員会
教授会
教育学部及び附属学校園共同研究プロジェクト運営委員会
- 8日 大学院新生オリエンテーション
附属小学校及び附属養護学校第1学期始業式
附属中学校前期始業式
- 9日 附属小学校、附属中学校及び附属養護学校
入学式
附属幼稚園第1学期始業式
- 9日～10日 学部新生オリエンテーション
- 10日 学部広報委員会

- 学部教務委員会
11日 授業開始
附属幼稚園入園式
16日 学部拡大将来計画委員会
17日 研究科委員会小委員会
研究科委員会
教授会
教官懇談会
20日～21日 新入生合宿研修（於：国立立山少年自然の家）
24日 紀要編集委員会

経 済 学 部

- 4月4日 学部国際交流委員会
5日 学部教務委員会
8日 研究科委員会小委員会
将来構想等検討委員会
9日 オリエンテーション（教養教育関係）
10日 人事教授会
研究科委員会
教授会
財務委員会
オリエンテーション（昼間主コース）
オリエンテーション（夜間主コース）
11日 学部入学試験委員会
オリエンテーション（第3年次編入学）
（昼間主コース）
オリエンテーション（第3年次編入学）
（夜間主コース）
16日 学部学生生活委員会
23日 学部教務委員会
24日 就職指導委員会
学部総務委員会

理 学 部

- 4月4日 学部教務委員会
大学院理工学研究科博士前期課程理学部会
教育委員会
5日 学科長会議
9日 大学院理工学研究科博士前期課程理学部会
教授会
人事教授会

- 大学院理工学研究科博士後期課程部会
12日 動物実験安全専門委員会（持ち回り）
17日 学部入試委員会
19日 学部広報委員会
24日 学部施設委員会
学科長会議
大学院理工学研究科博士後期課程部会
25日 排水安全専門委員会
大学院理工学研究科博士前期課程理学部会
教育委員会（持ち回り）

工 学 部

- 4月2日 学部自己点検評価委員会
学部運営委員会
3日 大学院部会拡大WG（理・工）
5日 学部自己点検評価委員会
学部施設整備委員会
学部外国人留学生委員会
8日 学部新入生保護者施設見学・懇談会
学部教務委員会
学部教育業績評価検討会
9日 教授会
専任教授会
理工学研究科博士前期課程工学部会
10日 新入生学部オリエンテーション
11日 大学院部会拡大WG（理・工）
16日 JABEE講演会
「技術者教育認定制度（JABEE）の本格実施にあたって」
17日 学部就職委員会
18日 大学院部会拡大WG（理・工）
19日 学部将来計画委員会
学部運営委員会
23日 学部電子広報委員会
学部教務委員会
学部入学試験検討委員会
24日 教授会
理工学研究科博士前期課程工学部会
理工学研究科博士後期課程部会

附 属 図 書 館

- 4月9日 年史編纂委員会

地域共同研究センター

- 4月11日 運営委員会（持ち回り）
17日 サテライト技術相談オフィス開設
18日～20日 M E X 金沢2002出展
18日 運営委員会（持ち回り）
25日 提案公募型技術開発事業（委託費・補助金）
についての説明会
講師：中部経済産業局産業技術課長他2名

水素同位体科学研究センター

- 4月22日 専門委員会
運営委員会
24日 教育訓練
25日 専門委員会（持ち回り）

極東地域研究センター

- 4月19日 運営委員会（持ち回り）

お知らせ

子の看護のための休暇制度について

平成14年4月1日から子の看護のための休暇制度（特別休暇）が新設されました。

これは、職員が負傷又は病気の小学校就学前の子（6歳に達する日の属する年度の3月31日までをいう。）の看護を行うため、勤務しないことが相当と認められる場合、1の年において1日を単位として、5日の範囲内で特別休暇が取得できるものです。

詳細については、総務部人事課職員係（内線6019、3023）又は所属の総務担当係にお問い合わせください。

〈ちょっと一言〉

酒のイッキ飲みの防止について

春は新入生歓迎コンパが盛んな季節であり、サークルやクラスの集まりで学生とともにお酒を口にする教職員も多いことと思います。このコンパは親睦を深めるのに格好の飲み会ではありますが、急性アルコール中毒で病院に搬送されるケースも後を絶ちません。（富山市消防本部によると、平成13年に急性アルコール中毒等アルコールに絡む病院搬送は114件あり、そのうち未成年者を含む30歳未満が58人で半数以上（約51%）を占めました。）

酒の主成分であるエチルアルコールは、胃や腸から吸収されると肝臓に運ばれ、酵素によって分解されます。この酵素は2種類あり、最初にアルコールをアセトアルデヒドと水素に分解する酵素（ADH）と、アセトアルデヒドを酢酸と水素に分解する酵素（ALDH）があります。このうち、毒性が強く、頭痛や動悸を起こしたり顔を赤くしたりするアセトアルデヒドを分解して無害にするALDHの量には、遺伝による個人差があり、酵素が多いほど酒に強く、全く酵素が無くて酒を受け付けられない人もいます。（日本人は比較的、ALDHの保有量は少ない。）

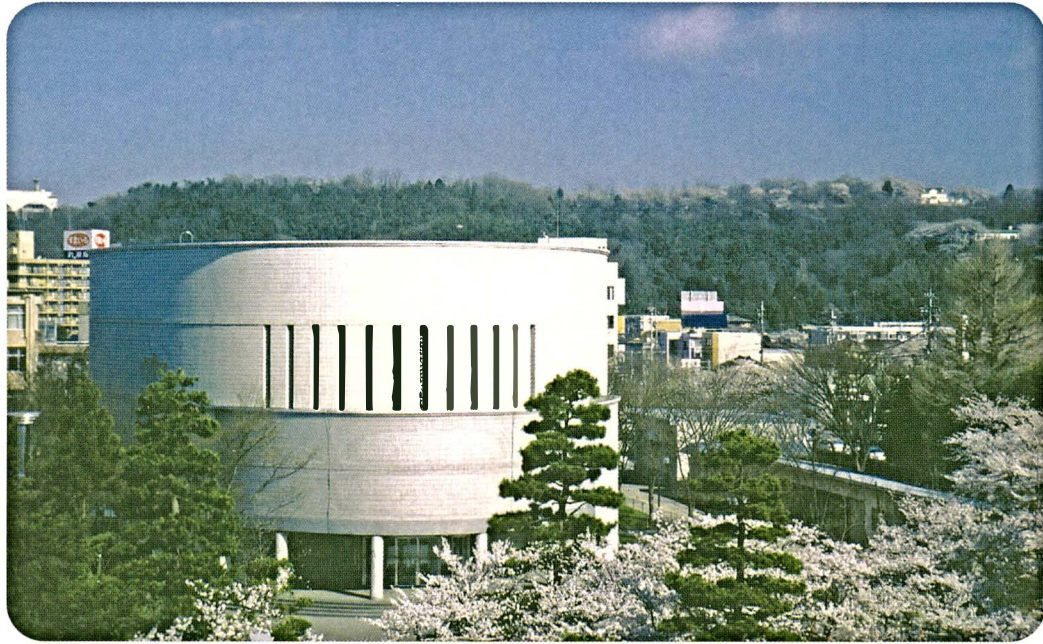
酒をイッキ飲みすると、血液中のアルコール濃度が急激に上昇し、「ほろ酔い期」や「酩酊期」を飛び越して、おう吐や意識混濁などの症状が出る「泥酔期」に突入することがあり、アセトアルデヒドを分解する酵素が無い人の場合は、大量に飲まなくても生命にかかわる危険な状態になります。

本学の齋藤清二 保健管理センター所長は、「大学生の場合、2年生や3年生になれば自分が酒に強いかわ弱いか分かるようになるので、あまり無茶はしない。むしろ心配なのは酒の強弱を知らないまじめな1年生」と指摘するとともに、「酒が飲めない人に飲酒を強要しないことが大事で、無理強いすれば犯罪にもなりかねない。そして酒を断ることは恥ではない。」と強調されています。

飲酒に絡む事件もこれまで数多く起きており、平成11年に熊本大学医学部で漕艇部員が急性アルコール中毒で亡くなり、コンパに出席していた熊本大学教授、同大学OB及び上級生に対して遺族から刑事告訴・損害賠償請求訴訟が起こされ、現在も係争中となるなど、悲劇的なケースもあります。

今一度、各教職員が楽しいお酒の飲み方を考え、学生にもその旨指導していただききたいと思いますが、いかがでしょうか。

（総務部企画室）



△春の黒田講堂



△入学生へのクラブの勧誘看板が立ち並ぶメインストリート

編集 富山大学総務部企画室 〒930-8555富山市五福3190 TEL. (076) 445-6029 FAX. (076) 445-6033
印刷所 あげぼの企画(株) 〒930-0031富山市住吉町1-5-8 TEL. (076) 424-1755 FAX. (076) 423-8899